

2028 長野国民スポーツ大会・全国障がい者スポーツ大会 中央競技団体視察

日本バレーボール協会関係者が開催地4市町を視察！



【県協会専務理事 村上里志】

7月25日(月)～26日(火)、公益財団法人日本バレーボール協会の村上成司大会運営事業本部長・堀越競技委員長・大塚審判規則委員長が、2028国スポ競技開催地の高森町・安曇野市・大町市・松本市の4市町の準備状況を視察され、各会場となる試合会場や組織運営・宿泊施設・輸送手段等々について、進捗状況を確認していただきました。

特に大きな指摘事項はありませんでしたが、競技エリア以外の諸室の再配置、空調設備の充実など、数々の要望事項をいただきましたので、「アスリートファースト」理念の下で、長野県・開催地自治体と連携して改善に努めて行きたいと思います。

最後になりましたが、立ち合いをいただきました地区協会・

関係連盟役員の皆様に御礼申し上げます。有り難うございました。

ジュニアクラブチームに関わる情報交換会を開催

【ジュニアクラブプロジェクトリーダー 城倉 淳】

7月23日(土)に第1回ジュニアクラブチームに関わる情報交換会を開催しました。今年度の当協会の運営基本方針に示されている、中学校における休日部活動の地域移行に関わって各地区協会でのクラブ発足促進を目的として、本年度より設置されたジュニアクラブプロジェクト(特別委員会)の活動です。

急激な新型コロナ感染拡大(第7波)の影響により、Web会議として行いました。指導普及委員に加え、地区協会の理事長及びプロジェクトメンバー(6名)の計21名の参加をいただき、中身の濃い情報交換を行うことができました。話し合いの柱は参加者が把握している中学校における休日部活動の地域移行に関わるクラブチームの現状を紹介し、課題を導き出すことでした。この情報交換会の中で浮かび上がってきた課題は以下の内容です。

- 課題1 自治体(市町村)によって休日部活動の地域移行の進捗状況のばらつき
- 課題2 地域指導者の不足
- 課題3 クラブ運営の費用負担(会場借用料、指導者手当等)
- 課題4 体育館をはじめとする練習会場確保が困難
- 課題5 保護者会主催のクラブの再浮上
(平成時代の後半、県教委から指導を受けた責任所在が明確でないクラブ)
- 課題6 中学校部活動チームと地域クラブチームとの間で生じる選手の取り合いの可能性

壁にぶつかっている自治体(中学校)が多い一方で、既存の総合型地域スポーツクラブや小学校バレーボールクラブ等との連携を図りながら、地域移行を進めている市町村もあります。こうした地区は市町村の担当者と中学校と地区協会の関係者が長期にわたって連携を取り合っているという報告がありました。

今年度下半期、プロジェクトの活動として、更に情報を集め、課題の解決方法を探り、中学校や地域で悩んでいるバレーボール関係者に助言できるような委員会でありたいと思います。

今後、8月中旬に実施予定の全国中学校体育大会の期間に行われる全国中学校体育連盟の会議で示される方向や、今月末の北信越理事長会議の内容などを精査し、次回予定している情報交換会では委員会としての提案をお示ししたいと考えています。

27チームが集い、和やかな雰囲気の中で熱戦を繰り広げる！



【県協会専務理事 村上里志】

7月10日（日）、競技者の拡大を目的に、千曲市において第1回県OB・OG交流大会が開催されました。参議院選挙投票日と重なりましたが、男子12チーム、女子9チーム、そしてミックスが6チームの計27チーム、269名という多くの皆さんご参加をいただきました。

開会式では参加賞の進呈や賞品を懸けてのジャンケン大会など、他の大会とはまた違った和やかな雰囲気の中で競技がスタートしました。

今回、中学・高校の同窓チームなど、多くの未登録チーム・未登録者に参加していただきましたが、これが新チームの結成や多くの若者の競技再開に繋がれば、本事業の目的達成になると思っています。来年度

以降も特に若者・女性の競技者拡大を目指して開催して行きたいと思いますので、ご理解ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、前例がない中での予想外の参加チーム増による会場確保や参加賞手配など、迅速にご対応いただきました鈴木会長はじめ、ちくまバレーボール協会の皆様に心より感謝申し上げ、報告と致します。有り難うございました。

第72回中部日本6人制総合男女選手権大会

高校女子の都市大塩尻が6年振り4回目の優勝！

【県協会専務理事 村上里志】

7月16日（土）～18日（月）、第72回という伝統ある標記大会が岐阜県にて開催されました。コロナ対策のため、一般は飛騨高山ビックアリーナ、高校の部は山県市総合体育館の分散開催となり、代表者会議など諸会議もリモートで実施されました。

それでも期間中に出場チームから陽性者が発生、また役員の中にも擬陽性者が出るなど、難しい大会運営となりましたが、関係者の賢明な対応により全日程を終了しました。

結果は、抜群の安定感を魅せた都市大塩尻が高校女子で優勝を飾りました。都市大塩尻は安定した守備からの持前の高速バレーを展開。劣勢になっても慌てずに立て直す粘り強さも発揮して、7月末より徳島県で開催される高校総体に向け、幸先の良い結果となりました。

高校男子は松本国際が主力の怪我もあってか、まさかの初戦敗退。一般女子のルートインホテルズも完成度が低く、同じV2リーグ勢に完敗。一般男子の長野ガロンズも準決勝に駒を進めたものの同じくV2リーグ勢に完敗するという結果となってしまいました。

8月19日（金）～21日（日）に福井市で開催される北信越国体に向け、奮起と立て直しを期待したいと思います。以下、優勝した都市大塩尻 今井監督のコメントです。



「第72回中部日本6人制バレーボール総合男女選手権大会に参加して」

《東京都市大学塩尻高等学校女子バレーボール部監督 今井一仁》

過日行われました、中部日本総合バレーボール大会におきまして、第64回大会以来4回目の優勝をすることができました。応援誠にありがとうございました。インターハイ前の大事な大会と位置づけ、テーマを明確にして試合に臨みましたが、試合内容としましては決して満足のいくものではありませんでした。ゲームの流れをつかみきれなかったり、相手の流れを止めることができなかったりで、連続失点を許す場面もありました。インターハイに向けて多くの課題が明確になりました。インターハイまでに意識を高め、精進して参りたいと思います。

大会に際しまして、一般財団法人長野県バレーボール協会様、長野県高体連バレーボール専門部の皆様をはじめ、多くの方々からご声援賜りましたことに心から御礼を申し上げ、ご報告に代えさせていただきます。

男子は長野工業高校 女子は松商学園高校のペアが国体へ



上げましたが、21-18 で峰村・小林ペアが先取しました。

第2セットはお互いサービスエースで点数を取るスタートでしたが、その後は峰村・小林ペアが多様な攻撃で点差を引き離し、勢いそのまま 21-8 と圧倒。セットカウント 2-0 で峰村・小林ペアが勝利を手中にしました。

長野工業高校の峰村琉唯・小林優斗ペアは、9月10日(土)から栃木県足利市で行われる『いちご一会とちぎ国体』に出場します。一方の女子は、松商学園高等学校の中澤柚乃(3年生)・熊谷七海(1年生)ペアが、2022 マドンナカップ in 伊予市ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会出場に続き、本国体への出場となります。

両チームには、コロナの閉塞感を吹き飛ばすようなプレーと勝利を期待したいと思います。

【県ビーチ連盟副理事長 小澤光良】

標記大会を7月10日(日)、駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場(ビーチバレーコート)で開催しました。女子は1チームしかエントリーがなく、男子のみ、5チームによるトーナメント戦を行いました。

決勝戦は、第21回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会県予選で優勝した長野工業高等学校の峰村琉唯・小林優斗(3年生)ペアと東海大学付属諏訪高等学校の吉田太飛(2年生)と栗山瑛介(2年生)ペアとの対戦となりました。

1セット目は序盤からラリーが続き、一進一退の攻防となりましたが、中盤から小林のスパイクが決まって徐々に点差を広げ、峰村・小林ペアが13-8でリードしてテクニカルタイムアウトを迎えました。終盤、吉田・栗山ペアはツー攻撃などで追い



第2回全国中学生ビーチバレーボール選手権大会 長野県予選会

県内初の中学生2人制ビーチ大会開催！

【県強化委員 木下久資】

標記大会は、昨年度から愛知県碧南市で始まった中学生対象の2人制の大会です。中学生にとっては、ビーチバレー自体余り馴染みがなく、練習場所も限られ、更には本格的な2人制ということで、どれだけ参加希望があるか心配でした。しかし、男子は3チームのエントリーがありましたので、急遽、国体ビーチバレーボール競技

男子女子2人制長野県予選会に引き続いて、同日同会場で開催致しました。

男子にエントリーしたのは、松本市立丸ノ内中学校の2ペア(小栗遼聖・佐藤陽斗ペアと伊東光太郎・小口幹太ペア)とRed Dragon(小澤宗一郎(駒ヶ根市立赤穂中学校)・濱 大翔(辰野町立辰野中学校)ペア)でした。3チームということで、リーグ戦で優勝チームを、そして全国選手権大会出場チームを決めることにしました。又、試合形式は、全国選手権大会と同様に21点1セットマッチとしました。

結果は、違う学校の選手同士で組んだペアながら、



地元で休日を利用して練習を積み、ビーチ2人制の独特のルールに対して一日の長があったRed Dragonの小澤・濱ペアが余裕の試合運びで連勝。全国選手権大会への出場権を獲得致しました。

しかし、負けたとは言え、丸ノ内中の2ペアも、1試合目よりは2試合目の方が明らかに技能的な向上が見られ、中学生の吸収力の高さを示した戦い振りでした。

尚、女子は松本市立清水中学校の1年生、清水理乃・川勝絢香ペアしかエントリーが無く、このペアを全国選手権大会出場チームとして推薦することになりました。

全国中学生ビーチバレーボール選手権大会は8月20日(土)・21日(日)、愛知県碧南市の碧南緑地ビーチコートで開催されます。全国大会迄1ヶ月以上の期間がありますので、更に練習を重ね、両チーム共上位へ進出することを期待したいと思います。

第61回長野県中学校総合体育大会夏季大会 兼 第52回全日本中学校選手権大会 長野県予選会

女子は広徳中が初優勝 男子は小布施中が連覇で優勝最多記録を更新

【県強化委員 安藤利長・県中体連副専門委員長 小田切克仁】

標記大会が7月17日(日)・18日(月)の2日間、男女共に松本市総合体育館で開催されました。コロナ感染症対策を施しながらも、今年は各チーム保護者30名までが観戦できることとなりました。今年度の3年生はコロナ禍の中、1月から4月まで練習や練習試合を制限され、地区外に遠征して練習試合の経験を積むこともほとんどできず、昨年度の3年生同様、バレーボールに思う存分向き合うことができなかった3年間を過ごしてきました。その中でも地道な練習を積み重ね、各地区大会を勝ち上がって県大会へと駒を進めた男女各16チームの精鋭が、一堂に集って熱戦を繰り広げました。大会1日目は、男女共にフルセットの試合が多く、手に汗握る接戦が続出しました。

2日目の決勝、女子はエース今井、市川を中心に高速コンビバレーで勝ち上がってきた長野市立広徳中学校と、粘り強いレシーブからエース御子柴を中心に攻撃を組み立てる諏訪西・岡谷西部中学校との対戦となりました。両チーム共持ち味を発揮しながらスタートしたゲームは、安定したレシーブからサイドへの速い攻撃で得点を重ねた広徳中がストレートで諏訪西・岡谷西部中学校を破り、念願の初優勝を果たしました。

北信越大会出場順位決定戦は、安曇野市立穂高西中学校と飯島・伊那中学校との対戦となりました。エース丸山、大塚を中心に強打で攻めた穂高西中がストレートで飯島・伊那中を破り、3位で北信越大会に臨むこととなりました。



一方の男子決勝は、昨夏からの連続優勝を目指す小布施町立小布施中学校と、初の決勝進出、初優勝を目指す安曇野市立穂高西中学校という、共に地区1位同士の対戦となりました。昨年度優勝を果たした選手が残る小布施中は、正確なレセプションから両サイドにワイドなトスを供給するバレーを展開。穂高西中はエースにボールを集め、高い打点から繰り出される鋭いスパイクで応戦するも、小布施中の高速コンビバレーを崩すには至りませんでした。小布施中は2年連続失セット0、セット平均失点は13.8点という圧勝で連覇を果たすと同時に、須坂市立相森中学校と並び、自身が持っていた男子優勝最多記録を8回に更新しました。



北信越大会出場順位決定戦は、長峰・富士見中学校と、箕輪町立箕輪中学校との間で争われました。地区大会決勝でも接戦を繰り広げた両チームは、ここでも熱戦を展開。長峰・富士見中は両エースの強烈なスパイクで得点するも、箕輪中は相手クイックを押さえ込んでリードを奪い、2セットを連取して地区大会決勝の雪辱を果たしました。

男女4チームは、8月2日(火)～3日(水)に長野市で行われる北信越大会に出場します。特に男子は、ここ10年連続して全国大会に駒を進めたチームがありません。長野県開催となる北信越大会で躍動し、1つでも多くのチームが全国大会へと羽ばたいて欲しいと願います。

第21回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会 長野県予選会

2022 マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレー・ジャパン女子ジュニア選手権大会 長野県予選会

男子は長野工業高校のペア 女子は松商学園高校のペアが全国大会へ

【県ビーチ連盟副理事長 小澤光良】

標記大会を7月3日(日)、駒ヶ根市 森と水のアウトドア体験広場 ビーチバレー専用コートで開催しました。

男子は4チームのエントリーがあり、トーナメント戦で覇を争いました。

その決勝は、東海大学付属諏訪高等学校の林 洸希(2年生)・飯田風越高等学校の伊澤千心(3年生)ペアと長野工業高等学校の峰村琉唯・小林優斗(3年生)ペアの対戦となりました。林・伊澤ペアは日頃から今大会の会場で練習を積み重ねており、一方の峰村・小林ペアも上越市のビーチバレーコートで繰り返し練習を行っており、ビーチバレーに慣れ親しんだチーム同士の対戦となりました。

第1セット、序盤から峰村・小林ペアはコートの広さを生かし、空いている所へ落とす攻撃が冴えて点差を広げました。中盤、林・伊澤ペアは強打を織り交まぜて追い上げを図りましたが、21-17で峰村・小林ペアが先取。第2セットに入っても、1セット目の勢いを継続した峰村・小林ペアがミスをしないプレーで流れに乗り、終盤の林・伊澤ペアのサーブミスを追い風に21-16で連取。セットカウント2-0で峰村・小林ペアが出場権を獲得しました。

一方の女子は、エントリーチームが1チームしかなかったため、松商学園高等学校の中澤柚乃(3年生)・熊谷七海(1年生)ペアが出場権を得ました。中澤・熊谷ペアは、普段から梓川の河川敷で練習をしており、県内でも高い技術を持つチームです。

それぞれ、本大会では上位を目指して全力を出し切って欲しいと思います。



第25回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 長野県予選会

男女共に初出場のチームが優勝を飾る！

【競技委員長 関島 宏至】

7月31日(日)、標記大会が阿智高校体育館で行われました。新型コロナウイルス感染症が拡大する中でしたが、防止対策と熱中症予防対策を万全にした上での開催でした。

女子は5チームが参加し、決勝はVC長野トライデンツジュニアとヤング岡谷レディースの対戦になりました。第1セットは給水タイムまで互角でしたが、そこからVC長野が抜け出すと、ヤング岡谷も粘って逆転しまし

た。しかし、21-22から再逆転したVC長野が押し切って、セットを先取しました。第2セットも、その勢いのまま序盤からリードしたVC長野が連取。初出場・初優勝を果たしました。

男子は6チームが参加し、決勝はVC長野トライデンツジュニアとOPPORTUNITY BOARSの対戦になりました。第1セットは中盤からリズムに乗ったVC長野が先取しましたが、第2セットは逆にOPPORTUNITY BOARSが先行し、粘るVC長野を振り切りました。15点先取の最終セットは、互いに3試合目となり、体力の消耗戦になりましたが、OPPORTUNITY BOARSが思い切りの良いスパイクなどで勝利。こちらも初出場・初優勝となりました。

コロナ過の中、諏訪協会や上伊那協会からも審判を派遣していただき、無事大会が終了したこと、厚くお礼申し上げます。



男女計 25 チーム：122 人が参加して盛大に開催！

【県強化委員 木下久資】

標題には「第4回」とありますが、一昨年・昨年と中止でしたので、今回が実質上2回目の開催となります。優勝カップを新調し、今大会の開催に向けて動き出した時は、ちょうどコロナの第6波が収束に向かっている時でしたので、当初は男子12チーム、女子20チームのエントリーがありました。しかしその後、7月に入って感染者数が急速に拡大。大会3日前には感染警戒レベルが「5」に引き上げられる中、出場辞退が相次ぎ、7月31日（日）に大会々場の駒ヶ根市森と水のアウトドア体験広場に集まったのは、男子11チーム、女子13チームの計122人でした。

因みに中学生のビーチバレーはフリーポジションの4人制で、ネットの高さはインドアと同じで、男子2m30cm、女子2m15cmです。チームは、交代メンバーも含めて選手6名以内で構成するようにしました。尚、インドアでしか経験のない中学生にとっては、余り馴染みの無い砂の上での競技ということで、前日には講習会及び練習会、大会当日も出来る限り充分な練習時間をとっての大会運営となりました。



女子は、まず14チーム（1チーム棄権）を2グループに分けた11点1セットマッチ（デュース無し）のリーグ戦で決勝トーナメント進出チーム（上位3チーム、計6チーム）を決めました。決勝トーナメントからは15点1セットマッチ（デュース有り）としました。

その決勝戦に勝ち上がったのは、何れも予選グループ戦を2位で通過した“つばさクラブ”と松本国際中α。“つばさクラブ”は、インドアの夏季北信大会で県大会優勝の広徳中に苦杯を喫し、県大会出場を逃した悔しさを持つ千曲市立戸倉上山田中の3年生6人で構成されたチーム。準決勝では、グループ戦を6戦全勝で勝ち上がった安曇野市立穂高東中に15-13で競り勝っての決勝進出。一方の私立松本国際中αは創部2年目ながら、指導者は2019年のビーチ大会の準優勝監督。準決勝では同じ松本国際中βに、やはり15-12で競り勝っての決勝進出でした。試合は、ビーチバレー4人制の1-3のフォーメーションのウイークポイントを知った双方のセッ

ターによるツーアタックの応酬などで白熱した展開となりましたが、決定力のあるサウスポーエースにボールを集めた“つばさクラブ”がカップを手に入れました

一方の男子は、12チーム（1チーム棄権）を4グループに分けた17点2セットマッチのリーグ戦で決勝トーナメント進出チーム（上位2チーム、計8チーム）を決めました。決勝トーナメントからは、女子と同様、15点1セットマッチ（デュース有り）としました。予選グループ戦では、得セット・得失点差が同じになった2チームが、昼休みに3点マッチのエキストラゲームをやって決勝トーナメント進出チームを決めるというグループもありました。

決勝戦は、長野市の5校（広徳中・川中島中・更北中・櫻ヶ岡中・東北中）から集めた選手で構成されたSVCと、7月10日に行われた全国中学生ビーチ選手権県予選を勝ち抜いた駒ヶ根市立赤穂中と辰野町立辰野中のペアを中心とするRED DRAGONの対戦となりました。ビーチの砂コートを知ったRED DRAGONに対し、SVCは圧倒的な高さで対抗。相手エースのスパイクには2枚ブロックでこれを封じ込め、序盤から一気に点差を引き離して一方的な展開に持ち込みました。終盤、相手の粘りにはあったものの、前半のリードを保って勝利の雄叫びを上げました。

この結果、女子の“つばさクラブ”と男子のSVCが、8月17日（水）～18日（木）に神奈川県で行われる湘南藤沢カップ 全国中学生ビーチバレー大会への出場権を得ました。大会開催に不安は残りますが、両チームの健闘をお祈り致します。

最後になりましたが、この大会を開催するに当たり、三島理事長様を始めとする県ビーチバレー連盟の皆様、地元の上伊那協会の皆様、そして上伊那中体連バレーボール専門部の関係者に多くの御支援を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。



4つの部で6チームが全国大会・北信越大会への出場が決定

【県ソフト連盟理事長 篠原初男】

7月3日(日)に大町市運動公園総合体育館において、大北支部役員のご協力を頂き、標記大会を開催することができました。

この大会は、スポレクの部とフリーの部が全国大会、ゴールド・プラチナが北信越総合大会(新潟県)、ファミリー&キッズは同大会(富山県)の予選会となる大会でした。

スポレクの部には10チーム・フリーの部には2チーム・ゴールドの部には11チーム・プラチナの部は3チーム、合わせて26チームのエントリーとなり、ファミリー&キッズの部にはエントリーがありませんでした。

スポレクの部は10チームの参加でしたので、4チームのブロックを1つ、3チームのブロックを2つ作って先ずグループ戦を行い、4チームのブロックから2チーム、3チームのブロックから1チームが決勝トーナメントに進出しました。その結果、松本市のカプリスが優勝、安曇野市のリバティが準優勝で9月23日(金)～25日(日)、長野県長野市で開催される全国スポレクフェスティバル大会に出場することになりました。



↑ チーム カプリス



↑ チーム リバティ



↑ チーム 翔舞

フリーの部は2チームのエントリーでしたので、この2チームによる決戦となり、小諸市の翔舞が優勝しました。翔舞は11月12日(土)・13日(日)、宮城県仙台市で開催される全国フリーフェスティバル大会に出場します。



↑ チーム たんぽぽ7

ゴールドの部は11チームの参加でしたので、4チームのブロックが2つと3チームのブロックが1つで予選を行いました。4チームブロックから2チーム、3チームブロックから1チームが決勝トーナメントに進み、大町市の南風が優勝、松本市の島内クラブAが準優勝となりました。

プラチナの部のエントリーは3チームでしたので、総当たり戦で順位を争いました。その結果、安曇野市のたんぽぽ7が優勝しました。ゴールドの部2チームとプラチナの部1チームは、10月30日(日)に新潟県上越市で開催される北信越総合フェスティバルに出場します。



↑ チーム 南風



↑ チーム 島内クラブA

小布施スポーツ少年団女子が3位入賞

【県小学生連盟理事長 西澤悦郎】

7月23日（土）～24日（日）、福井県福井市の福井県営体育館で標記大会が3年ぶりに開催されました。長野県から男女各3チームが出場しました。全チームが1日目のグループ戦を勝ち抜いて2日目の決勝トーナメント戦に挑み、女子第1代表の小布施スポーツ少年団が3位に入賞しました。

以下、チーム代表者のコメントです。

「第35回北信越小学生バレーボール大会を終えて」

コロナ禍の中、7月23日から24日にかけて3年ぶりに福井県で開催された第35回北信越バレーボール大会に出場してきました。

結果は、決勝トーナメントの準決勝で片貝ミニバレーボールクラブ(新潟県)に敗れ、ベスト4でした。

チームの持ち味であるサーブが走れば得点を重ねることが出来ましたが、逆に競い合っている場面でのミス、特にバレーボールの基本のプレーであるパスのミスが勝敗を左右してしまいました。たった1点の失点であってもミスで負けてしまうのは悔いが残ります。毎日どれだけ練習をしてもミスは出てしまいます。ミスさえ減らしていけば勝利に近づきます。だからこそ練習の時からどれだけ意識して集中してやるかが大事だと思いました。

今回良かった部分はさらに精度を高め、課題となっている部分はしっかりと反省し、練習を重ねて次の大会に生かしていきたいと思います。

私自身も、この大会でしか経験できないことがたくさんありました。この経験を忘れずにこれからの指導に生かし、新しい目標に向かって日々精進していきたいと思います。

コロナ禍の中、この北信越大会開催において、いつも以上に準備から運営等が大変だったと思いますが、ご尽力をいただいた北信越小連役員の皆様、そして開催地の福井県小連の役員の皆様、お疲れ様でした。そして、皆様のご協力があったの今日の結果だと思っています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。



7月試合結果

- ☆ 第21回全日本ビーチバレーボールジュニア男子選手権大会 県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.3_beach_junior.pdf
- ☆ 長野県ソフトバレーボール夏季大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.3_soft_kaki.pdf
- ☆ 令和4年度 第1回長野県6人制OB・OG交流大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.10_OBOG.pdf
- ☆ 第77回 国民体育大会ビーチバレーボール競技会 男子2人制/女子2人制 長野県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.10_kokutai_beach.pdf
- ☆ 第72回中部日本6人制総合男女選手権大会（高校の部）
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.18_tyubunipon_koko.pdf
- ☆ 第72回中部日本6人制総合男女選手権大会県予選会（一般の部）
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.18_tyubunipon_ipan.pdf
- ☆ 全日本9人制実業団男子女子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.18_9jitsu_men.pdf

- ☆ 第 52 回全日本中学校選手権大会 県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.18_tyugaku_sotai.pdf

- ☆ 第 35 回北信越小学生バレーボール大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.24_syogakusei_hokusinetu.pdf

- ☆ 第 41 回全日本 6 人制クラブカップ女子選手権大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.31_6club_women.pdf

- ☆ 全国高等学校総合体育大会 女子バレーボール競技大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.8.1_koko_sotai_zenkoku_women_7.31.pdf

- ☆ KOMAGANE CUP 第 4 回ビーチバレー中学生大会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.31_KOMAGANEcup.pdf

- ☆ 第 25 回 全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 県予選会
http://nagano-va.or.jp/GAMESchedule/2022siaikeka/R4.7.31_young_club.pdf

8 月 スケジュール

8/2(火)～3(水)	第 52 回全日本中学校選手権大会 北信越大会	(長野市)
8/2(火)～6(土)	第 49 回全国高校定時制・通信制大会	(神奈川県)
8/3(水)～7(日)	全国高等学校総合体育大会 男子バレーボール競技大会	(香川県)
8/4(木)	第 43 回北信越国民体育大会結団式及び監督会議	(長野市)
8/4(木)～7(日)	第 41 回全日本 6 人制クラブカップ男子選手権大会	(岡山県)
8/9(火)～11(木)	第 21 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	(大阪府)
8/9(火)～12(金)	第 42 回全日本バレーボール小学生大会	(東京都 他)
8/10(水) ・20(土)～21(日)	令和 4 年度日本スポーツ協会 公認コーチ 1 養成講習会	(大町市)
8/11(木)～14(日)	第 41 回全日本 9 人制クラブカップ男子選手権大会	(静岡県)
8/12(金)～14(日)	第 41 回全日本 9 人制クラブカップ女子選手権大会	(大阪府)
8/11(木)～14(日)	‘22 マドンナカップ in 伊予市 ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	(愛媛県)
8/12(金)～14(日)	第 36 回ビーチバレージャパン	(神奈川県)
8/17(水)～18(木)	第 13 回湘南藤沢カップ 全国中学生ビーチバレー大会	(神奈川県)
8/19(金)～21(日)	第 43 回北信越国民体育大会バレーボール競技 (インドア)	(福井県)
8/19(金)～21(日)	第 33 回全日本ビーチバレー女子選手権大会	(大阪府)
8/19(金)～21(日)	第 57 回全国高等専門学校体育大会	(愛媛県)
8/19(金)～22(月)	第 52 回全日本中学校選手権大会 バレーボール競技	(秋田県)
8/21(日)	長野県ソフトバレーボール秋季大会 北信越総合予選会	(茅野市)